

2019 Japan National Team Report ” サポーター”



J.O.D.A.
JAPAN OPTIMIST
DINGHY ASSOCIATION

報告者氏名	向井 典子
大会名	2019 OPTIMIST ASIAN & OCEANIAN CHAMPIONSHIP
開催地	オマーン ムッサナー
大会期間	2019年9月30日 ~ 2019年10月7日

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい

開催地域の様子	気温が高いのは覚悟して行ったが、湿度の高さが予想以上で体に堪えた。砂嵐で、半日外に出られない日があった。
宿泊場所	ハーバーと同敷地内のリゾートホテル。 選手、保護者ともツイン又はダブルで部屋同士が比較的近く、行き来しやすかった。 食事は朝晩ビュッフェだったが選手と一緒に食べられ、野菜や果物も多く美味しかった。
大会のサポーターへの対応は	運営の方々がとても気さくに話しかけてくれた。 日本の選手たちが礼儀正しく、他のチームの着艇を手伝ったりするため、日本がNo1チームだと こちらが恐縮するほど、何度も褒めていただいた。
選手たちのコンディションいつもどうでしたか？	誰も体調を崩すことなく、大会中過ごせた。 食事が美味しくて、十分に摂れていたことが大きいと思う。 睡眠時間が不足ぎみの選手はいたようだ。
サポーターとして気をつけたことは？	選手の体調管理を第一に考えた。あらかじめ相談して日本からアルファ米を持ち込み、選手が海上や着艇後におにぎりを食べられるようにした。熱中症対策として、なるべく選手が水分を摂りやすいよう ペットボトルを氷で冷やすなどした。 サポーター同士意思疎通をはかって作業を分担し、チームワークよくできたと思う。
海外の選手を見て感じたことは？	とてもフレンドリーで、積極的。
日本の選手を見て感じたことは？	女子は最初から積極的に海外の選手とコミュニケーションをとっていたが、男子にはそのような姿が なかなか見られなかった。英語を話せないことが一番気後れする要因だったと思う。 最終日には男子も海外選手とやり取りをしていたので、よかった。

Spare dayの過ごし方は？	期間中にspare dayはなかった。 閉会式の翌日に貸し切りバスで、モスクや市場などを観光した。
日本チームとしての課題はありましたか	英語力
JODAへの要望	特になし
その他	親子とも、とても貴重なさせていただき、ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました
JODA海外派遣委員会